



Q1

お仕事内容について教えてください。

システムが導入されると形になって見えますし、
本稼働を迎えた瞬間は嬉しいですね。

パッケージソフトの運用と保守。

県内含めた九州の20団体近くの自治体様向けに、パッケージソフトを導入して、運用と保守を中心に行ってます。お客様からのシステムに関する問い合わせや、導入後のメンテナンスにも携わっています。10年以上同じ部署に所属していて、役職がついてからはグループ長、次長と昇格し、部長としては2年目。現場で社員と一緒に開発したりプログラムを書いたりというところからは手が離れてきて、マネジメント的な業務が中心になってきました。社員のとりまとめや仕事の割り振り、進捗状況の把握、お客様との調整役などの業務が主になってきましたね。

1日のスケジュール

6:30	起床、準備
7:00	朝食はヨーグルトとフルーツ
8:00	出勤
9:00	
10:00	午前中はメールチェック、社内回覧確認
11:00	
12:00	昼食
13:00	午後は打ち合わせ、ミーティング、決裁業務など
14:00	
15:00	休憩・珈琲ブレイク
16:00	
17:00	
18:30	退勤
19:00	帰宅、夕食づくり 晩酌は…
お風呂	毎日ピール/本♪ 1日あかれさま～
20:00	ストレッチをしてお風呂上がりに体をほぐして、
21:00	日によってはアロマをたくこともあります。
22:30	

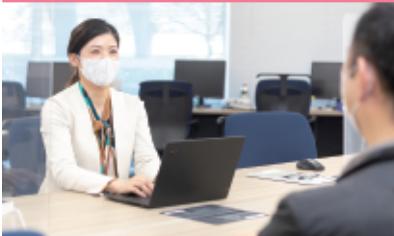
毎週月曜日は断食で体を整えるなど、体調管理はしっかりしています。

- 今後挑戦してみたい仕事は?
- 今導入しているシステムを活かしながらDXなど新しい業務にチャレンジしたいです。
- 新しいアイデアを出しながら時代に合わせた仕事に取り組んでいきます。



どんなに忙しい時でも、自分なりの喜びや達成感を。

あまり高いところに目標をもってぐるぐる登るので、自分が一つずつクリアする喜びを見つけて、ちょっとしたことに達成感を見出すのは、どんな仕事でも、長く楽しく働き続けるコツかもしれません。あとは、人と付き合うこと、コミュニケーションの大切さ。私も大変な時期、同僚に叱咤激励されて随分助けられました。胸の内を打ち明けるだけでも、心が軽くなることがありますよ。



株式会社オーエー

住 所: 大分市東春日町17番57号
ソフтверク内
業 種: 情報通信業
従業員数: 459人
(男性318人・女性141人)
*2021年3月1日時点

宣言

《計画期間: 令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)》

目標1 労働者が子どもの看護のための休暇について、時間単位で取得できる等より利用しやすい制度の導入。

目標2 管理職に占める女性労働者の割合を10%以上にする。

目標3 計画期間中に育児休業の取得状況を次の水準以上にする。
男性／取得者2人以上にする。
女性／取得率95%以上を維持する。

Q2

昇格に対する率直な感想を教えてください！



もともと昇格を目指していたわけではなく、目の前の仕事に一生懸命取り組んでいたら役職がついてきました。グループ長が管理職への第一歩でしたが、その時も上司から呼ばれて「どう?」と言われたのは寝耳に水でした。「え?できるかな」という感じで「少し考えさせていただけますか」といったら「今考えて返事しなさい」と言われて(笑)。「では、できるか分かりませんがやってみます」という勢いでした。できるかできないか分からないけど、まあいいか、という感じです。できなかつたら次の人にお願いすればいいかな、という気持ちで、受け取ることにしました。

実際に管理職を経験してみて本当に良かったなと感じます。現場にいた時よりは上司の気持ちも理解ができますし、仕事自体の視野も、考え方の視野も広がりました。部長への昇格の話をされた時も同じような流れです。

働く女性の皆さんにアドバイスをするなら、昇格の話をもらったら迷わずチャレンジして欲しいです。「なんとかなるさ」という精神で。実際にやってみないと分からないので、気負わず前向きに考えると良いと思います。

Q3

女性の働きやすさは?

昔は結婚や出産で退職という人も多くいましたし、産休を取得して戻って来る人もほとんどいませんでした。今は社会も変わって、会社の制度も変わってきて、結婚や出産しても戻ってきて来る人も増えてきました。それに伴って女性社員の色々な声も増えてきたので、制度だけではなくて、そんな声があることを伝えることが大切。仕事をする上で障害になっていることがあるなら、一緒に働きやすい方向を目指せばいいかなと思います。

女性の管理職だからと意識していることはありませんが、部署でいえば、メンバーの半数が女性なので、女性から制度の面で相談されることが多いですね。「育休を少し延長したい」とか、保育園のお迎えに間に合うように、「早めに出勤して早めに退社したい」といったシフトの相談などを受けたら、会社に伝えて極力調整しています。